

21世紀東通村環境デザイン検討委員会 第4回～第5回検討会の報告



◆第4回検討会
平成22年11月10日、東通村診療所医師住宅研修医棟において第4回検討会が開催されました。

第4回検討会では、これまで進めてきた総合環境プランに修正及び追加する案件について話し合い、世界規模での環境問題への取り組みや計画、保全プログラムの構築や目標達成への施策について取り組むべき事項、環境デザインでの事業案、モデルプロジェクトの具体例などについて意見を出し合いました。

モデルプロジェクトの例の一つとして、環境NPO法人(特定非営利活動法人)・環境NGO(非政府組織)、環境アラムナイ(同窓生組織)の設立、複数の組織の連合体など東通村独自の環境の組織の立ち上げなどがあり、村民と企業、行政が団結した大きな団体、地元の方、グラウンドワークが必要であるというものがあります。

そのためにはリーダーシップや継続性が大事ということなど、様々な意見が出されました。

その他のプロジェクトとして、海を守るプロジェクト、川を守る、水源涵養と紅葉を美しくする広葉樹植、耕作放棄地・無採草牧野再活性化、地元活用産地消、外来生物駆除・希少資源保全、きれいな道路・空地、環境配慮型建築推進、守るべき風景景観、昔からの伝統文化、普及啓発といったものさらに具体的な内容について話し合いました。

また世界の動きに注目すべく、地球環境、生物多様性、低炭素、カーボンオフセットといったものに対し率先し、先を見据えたもの、「地球から受けている生態系サービスに対しての」といった見方をプランに盛り込むことも必要であるという意見が出されました。



第4回検討会の様子



検討会を進める川原田恒委員長

第5回検討会では、はじめに村情報通信基盤整備事業についても担当による使用方法など説明があり、環境に活用可能かどうかの話が出されました。

その後、環境プランのプロジェクトデザインとして、各種施策を議論し、具体的な内容となるよう意見を出し合いました。

国際的な環境問題施策にいち早く対応し、計画・実施・点検、見直しを繰り返し行う実行性をもたせなければなりません。

「地球環境を守るには東通村から」といった理念をもち、持続可能な生態系と自然・潤いのある生活環境・感性を揺り動かす美しい景観を次世代に残すため、一人ひとりが取り組んでいかなければなりません。



第5回検討会の様子

◆第5回検討会
平成22年12月8日、東通村役場3階会議室において第5回検討会が開催されました。

お問い合わせ
経営企画課 環境デザイン担当
(Tel 27-2111)内線241、242